

活動紹介 ~NPO法人フードバンク仙台とは~

食料支援

仙台市内の生活困窮の方に、無償で食料をお渡しします。食料は主に個人や企業からの寄付でまかなっているほか、農地運営で育てた野菜も活用しています。

生活相談

当団体の食料支援の利用者の方へ、生活が苦しくなった背景等の聞き取りを行い、必要に応じて生活保護の申請同行や福祉制度や支援団体の紹介を行っています。

農地運営

私たちの手で作った野菜を無償で配布しています。お金の有無に関わらず、栄養や質が担保された食にアクセスできることを目指しています。

調査・提言

日々の支援を行う中で見えてくる貧困の実態や相談の傾向を分析し、社会発信するとともに、必要とされる貧困対策の提言を行います。

移民支援

留学生など外国籍の方から多くの支援依頼が寄せられます。国籍によらず共生できる社会を目指して、移民向け食料支援会に食料提供しています。

2025年度 栽培初チャレンジの野菜が無事収穫できました！

フードバンク仙台として農地運営活動を始めて、早3年目となりました。初年度はじゃがいも1種類、2年目は4種類を生産しました。3年目となった2025年度は多品種の生産を目指し、作業を進めてきました。昨年同様、じゃがいも、にんじん、玉ねぎ、大根を育て、さらに、新しくさつまいも、さといも、ねぎ、かぼちの栽培を始めてみました。かぼちや実験的に栽培を始めてみましたが、2,3個しか収穫はできませんでした。ツルが畑一面を覆っていたので、たくさん収穫できるかと期待していたので少し残念です。引き続き、野菜を作るうえでの知識や経験を蓄えていきたいと思っています！さつまいもや里いもは、苗を植えた時から随時作業をする必要がなく、安定的に生産をすることができるとわかりました。さつまいもは写真のように、まるまる大きく育てており、収穫初日は大きな感動に包まれました！（スーパーで売っているものよりも大きい！）

ーさつまいも、かぼちやなどー



物価高騰の中でも栄養ある野菜を届けたい

これから気候変動の影響で、野菜の生育が難しくなる傾向にあります。それに伴って、野菜の値段も高騰し続けることでしょう。困窮されている方々は、より栄養のある食品を食べるのが困難になってしまうでしょう。9月は日本国籍412人、外国籍540人、10月は日本国籍303人、外国籍565人に食料支援を行いました。今後も続く物価高騰で食料支援を依頼する方は増えていくと思われます。ボランティアで力を合わせて、通常の食料支援にプラスして新鮮な野菜を届けられるように頑張っていきます！



農地運営プロジェクトとは？

フードバンク仙台では、寄付された食べ物を生活にお困りの方へ提供するだけでなく、農地を運営し、自分たちで野菜をつくり、配布しています。お金の有無に関わらず、カロリーだけでなく栄養や質が担保された「食」にアクセスできる権利 (Rights for foods) を実現するための取り組みです。農作業には、フードバンク仙台の利用者の方も参加しています。作業は、土日を含めて月に数回行っています。誰も飢えない社会を目指して、ボランティア自ら知恵を出し合って取り組んでいます！

使っていない農地・農機具や空き家、空きスペースはありますか？



フードバンク仙台の農地・田んぼ運営や活動場所(新事務所、地域食堂の運営など...)、農機具を無料または低額で提供してもいいという方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡を！

# 生活相談 相談現場から貧困をなくす

当団体では、利用者の方を対象に困窮の背景や生活状況の聞き取りを行い、生活保護申請の同行や、困窮実態に関する発信、貧困をなくすための政策提言などを行っています。こうした支援現場からの取り組みを通じて、福祉行政の違法・不適切な運用を是正したり、制度の根本的な矛盾を明らかにしたりしていき、社会から貧困と飢餓をなくすことを目指しています。

2025年10月の支援人数は868人でした。特に母国の政情不安や経済的困窮などを理由に来日したバングラデシュやスリランカ出身の留学生からの依頼が増加しています。背景には、就労時間の制限や、アルバイト先が見つからず、また外国籍住民への社会保障が脆弱であることなどがあります。一方日本人世帯では、長引く物価高騰や職場での解雇等の労働問題で仕事を失った方、年金が低すぎて生活できないという高齢者世帯からの依頼などが寄せられました。今回は、子ども4人を育てるシングルマザーの方からのご相談を紹介します。

※匿名での発信許可をいただいております。

## 10月の利用者の内訳（速報値）

食料支援実人数 **868** 人

初回利用世帯：14.4%(125人)

日本人世帯のうち

1日3食の食事をとることができていない **59.1%**

誰にも相談していない **32.7%**

お金がなくて病院に行けない **28.1%**

希死念慮・死にたいと思うことがある **22.1%**

※件数はすべて実人数を使用しています。

# 支援レポート



10代の子ども4人がいる  
シングルマザーのAさん（30代）

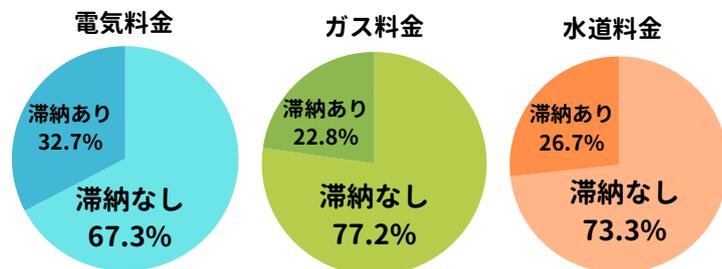
Aさんは、数か月前まで正社員として働いていましたが、月給は16~18万と5人で生活するには足りず、また小規模な会社で先が見えないことから、自ら退職を決意しました。当時は生活のために別の飲食店でもダブルワークをしていましたが、そこは「無断欠勤すると罰金で数万円支払わなければいけない」というペナルティ制度がありました。Aさんは一度寝坊して店を開けられなかったことがあり、これにより罰金分が給料から差し引かれ、実質給料が0になりました。Aさんはこれを機に退職し、新しい仕事を見つけようと、現在3社に応募していますが、返答はない状況です。

現在は児童手当と児童扶養手当月15万円ほどで生活しており、養育費の振り込みはありません。水光熱費などのライフラインの支払いはすべて2~3か月滞納しており、相談時の所持金は約4000円でした。食事面では、子どもが食べ盛りなのですぐに食料がなくなり、食費が多くかかっています。そのためご本人は、朝は何も食わず、夜もおかずのみなど少量だけ食べるという生活を送っています。

相談時Aさんは生活保護の利用を検討していたため、当団体からは食料支援をするとともに、早めの生活保護申請を勧めさせていただきました。

## 10月のライフライン滞納状況（速報値）

電気・ガス・水道のいずれかを滞納している世帯：44.9%



※「滞納あり」は停止世帯の人数を含む。

## 団体情報 NPO法人フードバンク仙台

【活動日】毎週月曜・木曜・金曜 10:00~16:00（祝日休み）

※農地作業は、土日を含め不定期に行います。

【所在地】〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-6-16第2ショーケービル101号室（みんなのBASE内）

団体HP



【Mail】foodbanksendai@gmail.com

【Tel】070-8366-3362（食料支援、生活相談）

080-7331-6380（寄付・取材・事務連絡）

※電話受付は、月木金(祝日休み)の10時~16時です。

## ボランティア募集中！

フードバンク仙台は月・木・金（祝日休み）の10時~16時に食料支援、相談支援を、土日に農地運営を行っています。平日は16時以降も、留学生への食料支援を行っています。ボランティアは延べ100人にもものぼり、たくさんの方の協力のもと活動が成り立っています。活動内容には、食料のパッケージ作り、配達、農作業など、活躍できる場面が多数あります！活動に興味のある方は、ぜひ参加してみませんか？



詳細は  
こちら



## 寄付募集中！

物価高騰が続き、食料品の寄付に比して食料支援が多い状況が続いています。1人でも多くの命を守るためにも、ご支援のほど何卒宜しくお願い致します！仙台各地に設置しているフードボックスや事務所に直接お持ちいただけると幸いです。

### 食品の寄付 寄付いただきたい食品の例

お米（古米まで）、缶詰、飲料、インスタント・レトルト食品（ラーメン、カレー、スープなど）、菓子、調味料 etc...

※対象外の食品：冷蔵、冷凍食品、期限切れ食品

### 活動費の寄付

この活動は無償性のため、収益がありません。活動継続のために電話代、事務所家賃、配送費などの活動費への寄付をよろしくお願いいたします。

寄付方法の  
詳細↓



クレジットカード  
からの寄付↓

